

弱冠20歳でロン＝ティボー国際コンクール優勝から15年
次代を担うピアニストへ、飛躍の時

田村 響

HIBIKI
TAMURA
Piano Recital

ピアノ・リサイタル

ラヴェル：亡き王女のためのパヴァーヌ Ravel: Pavane pour une infante défunte
ソナチネ Sonatine

ドビュッシー：亜麻色の髪の乙女 Debussy: La fille aux cheveux de lin
小さな羊飼ひ／月の光／喜びの島 Le Petit Berger / Clair de lune / L'isle joyeuse

ムソルグスキー：展覧会の絵 Mussorgsky: Tableaux d'une exposition

2022

2.27 [日] 14:00開演(13:30開場) トッパンホール

全席指定：4,000円

一般発売：12月10日[金]

トッパンホールチケットセンター 03-5840-2222(土日祝休) toppanhall.com
イープラス eplus.jp ヒラサ・オフィス 03-5727-8830(平日10:00～17:00)

主催・お問合せ：ヒラサ・オフィス 03-5727-8830

※未就学児のご入場はご遠慮ください。 ※都合により曲目等が変更になる場合がございますので、予めご了承ください。
※本公演は客席を空けずに販売いたします。今後の感染症状況によっては変更が生じることもございます。



©武蔵堂

HIBIKI TAMURA

Piano Recital

田村 響 (ピアノ) Hibiki Tamura, piano

2007年10月ロン・ティボー国際コンクールにおいて弱冠20歳で第1位に輝き、一躍世界に注目されるに至った。

2009年2月ビシュコフ指揮ケルン放送交響楽団の定期演奏会デビューと日本ツアーを行った他、これまでに、N響、読響、都響、新日本フィル、日本フィル、名古屋フィル、京響、大阪フィル、日本センチュリー響、東京シティ・フィル、神奈川フィル、仙台フィル、群響などと共演。日本各地でリサイタルを行う。

室内楽活動にも力を入れており、アントニオ・メネセス、宮田大、三浦文彰の各氏等と共演を重ねるほか、同世代のアーティストとも多数共演する。また、2019年3月にはマニエル・ルグリがプロデュースするバレエ作品にも出演し、自身初となるダンス・ステージとのコラボレーションを果たした。

活動は日本をはじめ、フランス、オランダ、ドイツ、オーストリア、ポーランド、イタリア、ロシア、エジプト、ブラジル、中国、台湾、ベトナムに及ぶ。

1986年愛知県安城市生まれ。3歳よりピアノを始める。18歳でザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学に留学。2015年大阪音楽大学大学院修了。深谷直仁、清水皇樹、クラウディオ・ソアレス、クリストフ・リースケの各氏に師事。これまでに4枚のソロCDをリリース。

受賞歴は、2003年アリオン賞、2006年出光音楽賞、2008年文化庁長官表彰・国際芸術部門、2008年安城市市民栄誉賞、2009年ホテルオークラ音楽賞、2015年文化庁芸術祭賞音楽部門新人賞、2015年愛知県芸術文化選奨文化新人賞、2017年京都市芸術新人賞などがある。

現在、京都市立芸術大学専任講師、大阪音楽大学特任講師、名古屋音楽大学客員准教授。



©武蔵堂



トッパンホール

〒112-0005 東京都文京区水道1-3-3 Tel: 03-5840-2200 Fax: 03-5840-1515
www.toppanhall.com

交通のご案内

江戸川橋駅 地下鉄有楽町線(4番出口)より徒歩約8分
飯田橋駅 JR総武線(東口)、地下鉄有楽町線、東西線、南北線、大江戸線(B1出口)より徒歩約13分
後楽園駅 地下鉄丸ノ内線、南北線(1番出口)より徒歩約10分
都営バス [上69][飯64]「大曲」または「東五軒町」下車徒歩約3分

※地下駐車場をご利用いただけます。(ホールご来場者割引あり)